

浅貝川樺ノ沢(向山三角点)



沢は地域住民が取水で使用している以外は入渓はないと思われる。はじめは伏流水になっており、源頭池はスラブに張り付くように生えている草から流れ出していた。スラブ帯が始まると複数に枝分かれしながら尾根(詰め)まで続く。スラブは傾斜はキツイが岩肌がザラつきフリクションしやすい、また、草も所々に生えているので危険度は低いと思われる。

尾根付近はシャクナゲ+蔓の猛藪なので進行困難。

三等三角点付近は古い登山道が確認できる(苗プリ方向から県境方向へ続く)。人が手を加えた木片がいたるところに有り、古くは標識も設置してあったようだ。



滝があるには有るが難しいものではなく、沢幅が狭く、草木も豊富にあるので巻くのは容易。距離も短い割には頂上の標高も高いので沢登りの足慣らしには丁度良い。手軽に標高の高い山に登れてとても気分が良い！！

参考タイム
9:20 車止め
9:35 入渓
10:00 スラブ帯始まり
10:10 源頭池
10:30 三等三角点到着
11:00 下山完了